

<p>その人にとっての “普通の生活”を考える ～当たり前前ことを 当たり前にしたから～</p> <p>和歌山県立 小規模多機能型居宅介護事業所 小規模多機能型ホームあん 高島雅人、上山晶子</p>	<p>滋賀県草津市の小規模多機能ホームあん矢倉に介護職員として勤務しております、高島雅人と上山晶子です。</p>
<p>小規模多機能型居宅介護</p> 	<p>私たちが勤務する「小規模多機能ホームあん」は、通い・訪問・泊りのサービスを一体的に提供する地域密着型の小規模多機能型居宅介護事業所であるため、すべてのサービスに一事業所のスタッフが対応出来、環境の変化を最小限にすることが出来るサービスです。</p>
<p>あんの理念</p> <p>誰もが人生において最後まで主人公である。 自分らしい暮らしを継続でき、 安心して高齢期を迎えられる理想の 地域社会を実現する。</p>	<p>誰もが人生において最後まで主人公である。 自分らしい暮らしを継続でき、 安心して高齢期を迎えられる理想の地域社会を実現する。</p> <p>いきなりですが、私たちの事業所では、このような理念を掲げています。</p>
<p>あんの理念</p> <p>誰もが人生において最後まで主人公である。 自分らしい暮らしを継続でき、 安心して高齢期を迎えられる理想の 地域社会を実現する。</p> <p>理念を具体的に表現。</p> 	<p>この理念を実践するために、100以上の短文で具体的に表現した『理念に基づくキーワード』を自分たちの中にしっかり落とし込む努力をしています。</p>
<p>あんの理念</p> <p>誰もが人生において最後まで主人公である。 自分らしい暮らしを継続でき、 安心して高齢期を迎えられる理想の 地域社会を実現する。</p>	<p>今回は、ご利用の方に「自分らしい暮らしを継続」していただくために、どのように取り組んでいるか、いくつかのキーワードに照らし合わせながらご紹介します。 なお、スライドで数名のご利用者の画像が出てきますが、写真の使用については、利用者及びご家族の同意を得て使用しています。</p>
<p>理念に基づくキーワード</p> <p>介護は援助者の時間軸で分業せず、 本人の時間に合わせる。</p> <p>スケジュールは 作りません。</p> <p>事業所主体はアカン。</p>	<p>スライドの太字で書かれた文字がキーワードです。 介護は援助者の時間軸で分業せず、本人の時間軸に合わせる。 事業所では可能な限り日中のスケジュールは作っていません。「スケジュールを作らない」というのは、「事業所主体のスケジュールを作らない」という意味です。</p>
<p>理念に基づくキーワード</p> <p>介護は援助者の時間軸で分業せず、 本人の時間に合わせる。</p> <p>スケジュールは 作りません。</p> <p>事業所主体はアカン。</p>	<p>(※「可能な限り」というのは、事業所を運営していくうえで、送迎の時間や昼食、入浴など、大まかな時間を決める必要があるから。)</p>
<p>理念に基づくキーワード</p> <p>介護は援助者の時間軸で分業せず、 本人の時間に合わせる。</p> <p>職員が、トイレの時間を 勝手に決めてどうすんの?!</p> <p>本人がやりたいことをサポート するには、どうしたらええ?</p>	<p>職員主導で何をするのか決めるのではありません。 利用者に軸足を置き、本人がやりたいことをできるようにサポートするのです。 そのため、レクリエーションの時間というのも設定していません。 しかし、最初は手立てがわからず、どうすれば、ご本人がやりたいと思うことを実行できるのか悩みました。そこでまず、例えばテレビを一緒に見たり会話をしたりする中で、興味や関心のあることを捉える意識を持ちました。</p>

理念に基づくキーワード

あくまで利用者が選ぶ・決める。
援助者は利用者が選べる環境を整える。

人には、その時々“気分”や“体調”というものがある。

私たちは、アンテナを張り、タイムリーに動けるようにする。

あくまで利用者が選ぶ・決める。援助者は利用者が選べる環境を整える

人には、その時々“気分”や“体調”というものがある。

職員が事前に、いつ、どこで、何を、という計画を立てることはしません。あくまでも決定するのは利用者です。

そこで、その時のご利用の方の気持ちに沿った提案ができるように、普段から、情報を検索し、地域の情報や資源にアンテナを張り、タイムリーに動けるように準備しました。

理念に基づくキーワード

あくまで利用者が選ぶ・決める。
援助者は利用者が選べる環境を整える。



ある時、近くのショッピングモールで行われている催し物に職員が行ったという話をすると、ご利用の方が「私らも行きたいなあ」と言われました。

すぐに他の職員と段取りを組んで、その日の午後からご希望の方と一緒に出かけました。

理念に基づくキーワード

人には、その時々“気分”や“体調”というものがある。

その姿になつたら、行きたくないよ。また、来たら、少し怖くもなってしまう。

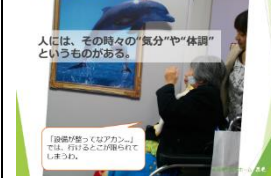


普通の生活の中で、時間があれば、行きたいと思った時に、行きたいところへ行くでしょう。「次回計画しましょう」では、ご本人の気持ちも変わるかも知れませんが、忘れてしまわれるかもしれません。「タイムリーに動く」ことに意味がある場合が多いのです。

理念に基づくキーワード

人には、その時々“気分”や“体調”というものがある。

「誰かが替ってやるから」では、行けることが限られてしまう。



また、行く先々に、必ず車いす用のトイレがあるとは限りません。

瞬時に状況を判断し、イレギュラーに対応することなどが求められます。

判断力や介護技術を磨く必要があることを、より認識する機会にもなります。

普段から意識を働かせるように努力しなければならないので、難しいこともたくさんありますが、やりがいを感じる瞬間でもあります。

※「今どこに職員がいて、何をし、どの利用者がどこにいて、次、何が必要か？その時事故の起こるリスクはないか？」

理念に基づくキーワード

こんなもんやったら、なんぼでもするで。

前例にとられる必要はない。本人ができること、しようとしていることを私たちの主観で奪っていないかを考える。



次にご紹介するのは、大工道具を持ち込み、ご利用を開始された方のお話です。

A氏は、若年性アルツハイマー型認知症で奥様が事業所の利用を希望されていましたが、ご本人にはその気はなく、どのような形で利用していただくかを模索していました。

ご自宅に訪問へ行った際、カーポートなどがご主人の手作りされたもので、ご本人に何うと日曜大工が大好きで「こんなもんやったら、なんぼでもするで」とおっしゃいました。

そして事業所にて、ベンチの制作を依頼するという形で通いが始まりました。

送迎車の後部座席は、電動のこぎりやその他の工具で埋め尽くされていました。

理念に基づくキーワード

前例にとられる必要はない。本人ができること、しようとしていることを私たちの主観で奪っていないかを考える。

前例にとられる必要はない。本人ができること、しようとしていることを私たちの主観で奪っていないかを考える。



前例にとられる必要はない。本人ができること、しようとしていることを私たちの主観で奪っていないかを考える。

そのような危険な道具を今まで事業所内で使用される前例はありませんでした。当然事業所としてケガのリスク等を考えましたが、本人の長年やってこられた経験と自信を私たちの主観で奪ってしまうことはできません。

事業所に到着すると、コーラを片手に煙草を吸われ、ベンチを作成されていました。

<p>理念に基づくキーワード</p>  <p>前例にとられる必要はない。 本人ができること、しようとしていることを 私たちの主眼で捉っていないかを考える。</p>	<p>1 カ月以上かけてベンチを完成され、その頃には、事業所内でもゆっくりと過ごされ、職員との会話を楽しまれるようになっていました。</p> <p>職員は、特に何もしていません。</p> <p>ただ、作業を見守っただけです。</p>
<p>理念に基づくキーワード</p>  <p>できたらいいなあではない。 やると決めてできる方法を考える。 できない方法は考えない。</p>	<p>次に、旅行に行った話をご紹介します。</p> <p>車いすを使用されている B さんが「昔は、よう温泉に行ったんや。もうこんな体になったら行けへんな。」「そやけど、一回連れってえな。」と話しておられました。</p> <p>ご本人は実現不可能と半ば諦めもありながら、冗談半分におっしゃっているように聞こえました。しかし、職員サイドでは実現する前提で動きだしました。そして…</p>
<p>理念に基づくキーワード</p>  <p>できたらいいなあではない。 やると決めてできる方法を考える。 できない方法は考えない。</p>	<p>1 カ月半後には、露天風呂につかっていました。</p> <p>常日頃、車椅子をご使用の B さんが、露天風呂に浸かり、琵琶湖を眺めながら…</p> <p>「こんな体になって、露天風呂に入れるとは思わへんかったわ…」</p> <p>と感慨深げにおっしゃいました。</p>
<p>理念に基づくキーワード</p>  <p>できたらいいなあではない。 やると決めてできる方法を考える。 できない方法は考えない。</p>	<p>B さんは、普段、ご自身の生活の中での葛藤などを語られる方ではありません。</p> <p>しかしこの一言から、ご本人の心の有りようを少し垣間見たような気がしました。</p>
<p>理念に基づくキーワード</p>  <p>できたらいいなあではない。 やると決めてできる方法を考える。 できない方法は考えない。</p>	<p>心身に何らかの障害がある方も普通の旅行をできるはず。</p> <p>私たちは、非日常ではなく、何気ない日常に焦点を当て、当たり前の生活をサポートすることを重んじています。</p> <p>使いづらいものはそれなりの工夫をし、食べづらいものもそれなりに食べ、様々な形での折り合いをつけつつ、当たり前の暮らしの中にある普通の旅行をしました。</p>
<p>理念に基づくキーワード</p>  <p>できたらいいなあではない。 やると決めてできる方法を考える。 できない方法は考えない。</p>	<p>ここまで、催し物に出かけこと、工具を持ち込んでの利用開始や旅行の 3 つの事例を理念に基づいて実行に移したお話をしましたが、</p> <p>おひとりお一人の真意をつかむことは簡単ではありません。</p> <p>しかし、ご本人が望まれることを諦めなくても良いように、私たちは誠実な関心を</p>
<p>寄せ、実現する方法を考え続けたいと思います。</p>	
<p>おわり</p> <p>小規模多機能ホーム あん</p>	<p>以上で発表を終わります。</p> <p>ご清聴ありがとうございました。</p>

発表時間 10分3秒